

單養池投餌料

月別	蠶	蛹	米	麥	糠
四月	1,100	1,100			1,100
五月	2,400	2,400			2,400
六月	2,400	2,400			2,400
七月	10,800	10,800			10,800
八月	2,400	2,400			2,400
九月	2,400	2,400			2,400
計	20,100	20,100			20,100

混養池投餌量表

月別	蠶	蛹	米	麥	糠
四月	2,400	2,400			2,400
五月	2,400	2,400			2,400
六月	10,800	10,800			10,800
七月	2,400	2,400			2,400
八月	2,400	2,400			2,400
計	20,100	20,100			20,100

四成長度ト生産量

單養混養ノ成長程度ヲ表示スレバ左ノ如シ

計	九月	十月
蠶	8,100	8,100
蛹	1,200	1,200
米	1,200	1,200
麥	1,200	1,200
糠	8,100	8,100

單養池成長調査表

魚種	種別	月日	放養當時	体長	体量	増肉量
鱒	種別	四月十日	四月十日	一、二寸	一、二匁	—
		四月三十日	四月三十日	二、三寸	二、三匁	一、一匁
		五月三十一日	五月三十一日	三、四寸	三、四匁	二、二匁
		六月三十日	六月三十日	四、五寸	四、五匁	三、三匁
		七月三十一日	七月三十一日	五、六寸	五、六匁	四、四匁
		八月三十一日	八月三十一日	六、七寸	六、七匁	五、五匁
		九月三十日	九月三十日	七、八寸	七、八匁	六、六匁
		十月三十一日	十月三十一日	八、九寸	八、九匁	七、七匁

混養池成長調査表

魚種	種別	月日	現	体長	体量	増肉量
鱒	種別	四月十日	四月十日	一、二寸	一、二匁	—
		四月三十日	四月三十日	二、三寸	二、三匁	一、一匁
		五月三十一日	五月三十一日	三、四寸	三、四匁	二、二匁
		六月三十日	六月三十日	四、五寸	四、五匁	三、三匁
		七月三十一日	七月三十一日	五、六寸	五、六匁	四、四匁
		八月三十一日	八月三十一日	六、七寸	六、七匁	五、五匁
		九月三十日	九月三十日	七、八寸	七、八匁	六、六匁
		十月三十一日	十月三十一日	八、九寸	八、九匁	七、七匁

鱒鱒混養殖試験







増肉量百九十匁ニシテ鯉苗百十二匁及米麥糠七升四合及雜魚一合強ノ餌料ヲ要シタル計算ナリ  
 尙ホ叙上二者ノ比較ヲ明瞭ナラシムル爲メ魚苗及餌料ノ重要費目ニ對シ其收支ヲ舉ケテ下ニ表參照單養池ハ魚苗費四拾參圓六拾八錢餌料費九拾圓拾貳錢計金百參拾參圓八拾錢ヲ支出シ生産收入貳百六圓七拾壹錢ニシテ差引收益七拾貳圓九拾壹錢ヲ獲得シ一ヶ年ノ一坪當リ收益六錢五厘強又混養池ハ魚苗費九拾七圓六拾錢餌料費百參拾八圓九拾錢五厘計金貳百參拾六圓五拾錢五厘ヲ支出シ生産收入四百拾四圓拾參錢ニシテ差引收益百拾八圓拾貳錢五厘ヲ獲得シ一ヶ年一坪當リ九錢貳厘強ニ相當セリ然レバ混養ニ於テ對一坪貳錢七厘ノ增收ヲ見ルベク増肉量ニ於テモ亦之レヲ單養ニ比シ三割以上ノ增收ヲ証明シ得ルニ足リ單養ハ混養ニ及バザルコト遠ク其最モ有利ナルヲ確信セリ

收支比較表

種類	單養池		混養池		摘要
	數量	單價	數量	單價	
鯉二才兒	10,000	0.1200	10,000	0.1200	本表ハ總テ一ヶ年ノ計算トス又表中ノ單價ハ當時ノ見積ニ據ル
全當才兒	10,000	0.1200	10,000	0.1200	
鯉二才兒	10,000	0.1200	10,000	0.1200	

收入比較表

種類	單養池		混養池		摘要
	數量	單價	數量	單價	
鯉三年魚	10,000	1.1500	10,000	1.1500	前表同様
鯉二年魚	10,000	0.9000	10,000	0.9000	
鯉三年魚	10,000	1.1500	10,000	1.1500	
計	10,000	1.1500	10,000	1.1500	

收支比較表

池名	坪數		支出		收入		差引		摘要
	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	
單養池	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	本表ハ前表ニ依リ一ヶ年ニ亘ル結果ヲ示シタルモノトス
混養池	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	

本試驗中ハ氣象其他ノ障害ニ依リ完全ニ初期ノ目的ヲ遂行シ能ハサリシト雖モ幸ニシテ  
 鯉鯉養殖試驗  
 三十三



テ其大要ヲ誤ラザルヲ得タリ而シテ養魚全部ニ關スル收支ニ就テハ試驗ノ規模ヲ擴大  
シ特別會計法ニ依リ獨立自衛シ得ヘキ水面ヲ有シ經營スルモノニアラサレバ各種ノ弊  
害ヲ存シ實際ノ收利ヲ見ルコト難ク説明上尤モ困難ヲ感ズル所ナリ然レドモ特ニ營業  
者ノ參考ニ資セン爲メ混養池本年度ノ成績ニ準シ試ニ收支ノ概要ヲ舉クレバ左ノ如ク

二ヶ年ノ 支計算

一金四百拾四圓拾參錢

收 入 金

但シ鮎三才九十八貫二百匁一貫ニ付壹圓拾五錢鯉三才百九十五貫六百匁一貫ニ付

壹圓鯉三十五貫二百匁一貫ニ付三圓

一金三百三十四圓五厘

支 出 金

內 譯

金九十七圓六十錢

魚 苗 代

但シ鮎兒二才二十八貫八百匁一貫ニ付九十錢鯉二才二十五貫六百匁一貫ニ付

八十錢鯉魚三十二貫一貫ニ付壹圓六拾錢

金百三十八圓九拾錢

餌 料 代

但シ蠶蛹百四十四貫八百五十匁一貫ニ付參圓米麥糠九十五貫四百五十匁一石

壹圓

金貳拾壹圓

石 炭 代

但シ四千二百斤 百斤五十錢

金七拾七圓

人 夫 賃

但シ池水面三千坪ニ對シ養魚人夫平均一日一人ト假定シ池面六百四十坪ニ對

シ二ヶ年間百四十五人ヲ要シ一人五拾錢日當ノ計算ニ據ル

差引收入金ハ八拾圓拾貳錢五厘

蓋シ計算上真正ノ利益ヲ示サンニハ支出金中尙ホ器具損料地代ノ外通信運搬等

僅少ノ雜費ヲモ見積リ之レヲ控除セザルベカラズ而シテ一ヶ年ノ收入額ハ當該

差額二分一即チ金四拾圓六錢二厘強ニシテ一坪當リノ收利六錢二厘強ニ相當セ

### 牡蠣養殖

本試驗ハ地方在來ノ牡蠣ニ就キ養殖ノ方法ヲ施スモノト他ハ佐賀縣下有明海ニ産スル  
住ノ江牡蠣ト稱スル優良種ヲ移殖スルノ二様アリテ前者ハ前年ニ繼續シ和氣郡片上灣

牡蠣養殖



於テ施設シ後者ハ本年ノ創設ニ係リ兒島灣内大瀨妹尾瀨ノ二ヶ所ヨリ分殖シテ試驗ヲ施行セリ

一片上灣養蠟

片上灣牡蠣試驗ハ一昨三十九年ノ創設ニ係リモ前年ハ赤潮ノ發生ニヨリ試驗地内養蠟約八割ヲ斃シタルヲ以テ本年度ニ於テハ再ヒ新ニ築材ヲ建植シ採苗ヲ行フト同時ニ殘存セル二ヶ年牡蠣ヲ試驗地區内空地ニ撒布シ飼育ヲ試ミタリ  
築建植ハ六月十一十二ノ兩日ニ亘リ松材壹千株ヲ前年全様ノ方法ニヨリ潮流ニ並行ニ建設セリ築材ハ徑一尺二三寸ノ松材ニシテ前年ハ六尺切トセシモ上部約一尺許ハ附着皆無ナリシヲ以テ本年ハ之ヲ五尺切トナシ下部一尺ヲ地下ニ挿入シ其剩餘四尺ノ間ヲ附着面ニ充テタリ蠟苗ノ附着ハ七月初旬徑一厘位ノ白点ヲ認メ全十二日頃ニ至リ明ニ介形ヲ識別スルニ至リ爾後着生増加シ介ノ生長又著シク九月下旬ニ至リ介殼ノ大サ平均五分内外ニ増大セリ各株ノ附着ハ粗密不同ニシテ枝條ノ在存セルモノハ從テ附着夥多シク殊ニ枝根ノ基ニ重疊着生セルモ枝條ナキ棒狀ノモノハ極メテ薄生ナリ附着ノ位置ハ筵ノ中間一尺四五寸ノ間最密ニシテ土際三寸及最上部ハ粗ナリ一株ノ着生數棒狀ノモノニテ平均百十個内外ヲ算セシモ中ニ僅ニ十數個ニ過キサルモノアリ之ヲ前年成

蠟ニ比スレハ強テ薄生ニアラサルモ本年築立時期ニ於テ約一潮ノ汐時ヲ遅シタルモノ、如ク築建當時既ニ沿岸堤防石塊等ニ蠟苗ノ附着散点セルヲ認メタリ然レハ該地ニ於ケル産卵盛期ハ五月中旬ヨリ六月初旬ノ間ニアリテ今後築立ハ遅クモ五月中ニ建立スルヲ得策ナルヲ確メタリ

上記ノ如ク十月撒布セル二年牡蠣ハ介殼肉量等ニ於テ増大著シク殼長二寸八分巾一寸二分肉量十匁ニ達セシモ充實十分ナラス肉色水色ニシテ半透明ナルヲ以テ其幾分チ賣却シ他ハ次年迄飼育スルコト、セリ要スルニ該地ハ片上灣ノ尽處ニ位シ潮流極テ緩慢ナルト淡水ノ注入モ又乏シク且地底露出時間ノ長キ等各種ノ事情ヲ綜合シテ餌料攝取上ノ不便ヨリシテ營養欠乏ノ結果如上ノ狀況ヲ呈シタルモノト認メタルヲ以テ尙之ヲ確實ニセシカ爲メ次年度ニ於テハ其撒布區域ヲ變更再、驗セントス

二住江牡蠣移植

佐賀縣下住ノ江産牡蠣ハ各地方普通ニ産スルまかきト全一種ナルヲ將別種ナルヲハ學說一定セサル處ナルモ其生長力ノ多大ナルト形休ノ正整ニシテ肉味又好良ナル点ニ於テ普通種ニ比シ優良ノ種類タルハ疑ヲ容レサル處ナリ而シテ之カ産地タル有明海ハ底質潮汐海水鹽分等我兒島灣ト稍同様ニシテ彼此棲息生物ハ零全一種類ノ者多ク諸多ノ

牡蠣養殖



状態酷似セルヲ以テ之ヲ移植シ蕃殖ヲ圖ルノ目的ヲ以テ本年度新ニ之カ試験ヲ施行セ  
 種牡蠣ハ二年生ニシテ佐賀縣小城郡若川村産ノモノヲ購入セリ介ノ大サ平均長四寸三分  
 巾二寸七分重四十九匁七分肉量十五匁ニシテ縣下在來種ニ比シ約三倍ノ大サヲ有ス一  
 月廿一日産地ニ於テ採取鉄道便ニテ運搬二十八日妹尾潟及大潟ノ二ヶ所ニ分殖セリ  
 妹尾及大潟ノ二ヶ所ハ何レモ從來かきノ飼育場ニシテ底質軟泥水深平潮時五六尺小潮  
 時ニ於テ一二日間水ヲ湛エル處ナリ潮汐ノ流通宜シク淡水ハ笹ヶ瀬川彦崎川其他田用  
 水ノ排出ニヨリ淡鹹ノ調和ヲ得比重平均妹尾潟ニ於テ一〇一〇乃至一〇一五大潟ニ於  
 テ一〇一二乃至一〇一七ノ間ヲ昇降ス在來ノ種ハ新九十月頃ヨリ翌春三四月頃迄此地  
 ニ飼育スルモノナルカ本試験モ亦此法ヲ採リ四五月ニ至リ他ニ移シ産卵ヲ完カラシメ  
 シトス

移植後ノ狀況ニ就テハ運搬中介殻ノ損傷甚シカリシモノハ撒布後三四日乃至十二三日  
 間ニ於テ斃死セシモノ全量ノ約二割ヲ生セシモ他ハ頗ル健全ニ生育シ二月末ニ至リ介  
 殻破損部ニ新殻ヲ形成シ舊ニ復セルモノアルヲ認メタリ而シテ三月末日調査ノ際ハ新  
 ニ殻長三分乃至四分五厘ヲ増大セシモノヲ發見セリ之ヲ要スルニ本年移植後三ヶ月ノ

飼育ニ罹リ其生育ノ状態明カナラサルヲ以テ次年ニ於テ其成績ヲ明ニセントス

### 海鼠養殖

本試験ハ元來縣下沿海海鼠ノ生産ニ乏シカラサルモ漸次濫獲ニ流レ製品ノ價值ヲ失フノ  
 傾アリ其濫獲ノ原因ハ多クハ漁業者ノ無識ニシテ海鼠ノ生活状態ヲ明ニセス甚シキハ  
 一年生ニ限ルトノ説ヲ信スルモノアリテ其成育ヲ完全ニスルノ利ヲ覺ラルモノ其主ナ  
 ルヲ認メタルヲ以テ先ツ此味ヲ開カシムルヲ急トシテ海鼠生長程度ヲ示シ其他之カ生  
 活状態ヲ試験シテ一面天然ノ蕃殖ヲナサシムル目的ヲ以テ本年度ノ新設ニ係レリ  
 試験地ハ和氣郡日生町所属鹿久居島ケンシ灣ト稱スル小灣内ノ一隅面積約二千坪ヲ撰  
 定シ丸竹簀ヲ以テ之ヲ區劃シ海鼠ノ逃逸ヲ防キ地區内ニハ岸ヨリ深所ニ向テ一列ニ石  
 塊ヲ投入シテ海鼠ノ潛匿場タルト共ニ夏季休眠ノ場所ニ充テタリケンシ灣ハ灣口西南  
 ニ向ヒ三面丘繞テ以テ圍包シ風波ノ恐レ少ク潮流極メテ緩ナリ灣ノ周圍千二百五十間  
 面積六萬五千余坪灣口ハ最狭クシテ約百八十間奥行四百三十間ヲ有ス從來海鼠ノ棲息  
 スル處ナリ試験地ハ灣口ニ近ク北隅小澳灣ヲナシ水深干潮時ニ於テ最深所八尺陸ニ近  
 クニ從ヒ漸次淺シ底質真泥土ニシテ稍軟澤あり藻生茂セリ

### 海鼠養殖



放養ノ海鼠ハ總テ二年兒ニシテ四十一年六月二十日十八貫全年七月十日三十二貫合計五十貫ヲ放養セリ一個ノ大サ平均三十匁内外最大ナルモノ四十五匁ニシテ一貫目ニ對シ二十七個乃至三十二個ヲ算セリ當時盛夏ノ候恰モ海鼠ノ産卵期ニ當リ剖見セル拾個ノ内半數ハ放産後ニアリシヲ以テ其ノ生育ノ如何ヲ懸念セシモ無事生育スルヲ確メ得タリ放養後海鼠ノ生活狀態ニ就テハ日淺ク未ダ精査ヲ遂ケザルモ四十二年二月調査ノ際海鼠ハ多ク潮水流通宜シキ深所ニ潜ミ殊ニ區劃簞ノ側面ニ附着セルモノ多キヲ認メタリ而シテ生長ハ其際捕獲ノ二十五個ヲ檢セルニ體重最大七十二匁最小二十九匁平均五十三匁ニシテ放養後二十餘匁ノ増大ヲ爲セリ其他放養後發生ニ係ル十匁乃至二十四匁ノ体柔軟ニシテ稍々半透明ナル稚兒六個ヲ認タリ要スルニ本年度ハ僅ニ七ヶ月間ノ飼養ニ係リ單ニ試験ノ端緒ヲ開キタルニ止マリシモ既ニ生長好良ニシテ蕃殖セル稚兒ノ殘留シテ生育スルヲ確メ得タルハ試験ノ効果トシテ満足スル處トス

### 海苔移植

本試験ハ前年度ニ繼續シ上道郡沖田村地先ニ於テ採苗セシモノヲ淺口郡連島村近海ニ移植スルモノニ係リ前年ハ十分生長ヲ摘採ニ適スルニ至レバ強風ノ爲メ葉片ヲ切斷ノ災

ヲ被リシヲ以テ本年度ニ於テハ薄ニ近ク少シク凹所ヲ撰ミ移植地トセリ  
 築立ハ前年ト同一方法ニヨリ十月一日ヨリ三日間女竹千三百本粗朶九百本ヲ第一區及第二區ニ建立シ採種ニ充テタリ幼芽ノ附着ハ築立後六十五日即十二月五日ニシテ前年ニ比シ約一週間ヲ遅レタリ而シテ全年十二月十二日ニ至リ各株毎ニ二三葉ヲ認メ爾後増加シテ二十日頃ニハ二三葉ヲ算スルニ至レリ築立後ノ氣候ハ平順ニシテ温度漸次低下シ降雨モ少ナク比重平均一〇一五内外ヲ示セシカ之ヲ前年ニ比スレハ水温ニ於テ十一月ヨリ一月中旬移植迄ノ間常ニ一度乃至〇九度ノ高度ヲ示セリ然レハ一月中旬ニ至リ既ニドタノ發生ヲ認メ海苔伸張ニ障害ヲ與ヘタルカ如シ  
 移植ハ一月七八九ノ三日及全月十四日ノ二回ニ採取リ運搬セリ海苔ノ大サ最大ナルモノ三寸普通一寸内外ノモノニシテ採種子取場ヨリ採取リ直ニ海路兒島郡藤戸ニ至リ藤戸ヨリ荷馬車ヲ以テ移植地ニ運搬建植セリ第一回ニハ採取ヨリ建植迄三日間ヲ費セシモ第二回ニハ連島村ニ到着後暴風雨ト小潮時トニ遭遇シ全部建了迄七日間ヲ費シタル上中途降雨ニ遭ヒ爲ニ枯死スルモノ又ハ葉片切斷セルモノヲ生シ移植後伸長不良ナリシカ第一回移植ノ分ハ毫モ損害ヲ被ラズ又前年ノ如キ葉片切斷ノ災ニ罹ラズ沖田村地先ニ於ケルモノト殆ソト全線ノ生長ヲ遂ケ長五六寸巾三四寸ニ達セシモ色澤ニ於テ大



ニ劣リ赤褐色ニシテ光澤又乏シク恰モ三四月頃ノ春芽ノ觀ヲ呈セリ思フニ移植地ハ東西高粱川水ノ滲トナリテ淡水ノ注流ヲ受クト雖トモ河口ヲ距ル三十丁餘ニシテ其影響極テ少ク鹹度高ク自然營養分ノ不足ニヨルモノニアラサル乎ヲ疑フモ是等ノ成蹟ハ年々ノ天候ニヨリ甚シク豊凶良否ヲ生スルヲ以テ到底一二回ノ成蹟ヲ以テ斷定スヘキニアラズ更ニ次年ニ於テ試驗ヲ續キ以テ成蹟ヲ確メントス

### 調査之部

#### 蠶調査

本調査ハ農商務省ノ指定ニヨリ本年度創始セシモノニ係ル即チ以下年々回ヲ追テ其成蹟ヲ舉グベシ

#### 發生地調査方法

兒島灣内ニ於ケル蠶貝ノ生産ハ概シテ漸次其發生區域ヲ擴張シ從テ其産額亦増加ノ傾向アルモ素ト自然ノ發育ニ任セ未ダ曾テ他ノ牡蠣灰貝等ノ如ク養成ノ方法ヲ加ヘザルヲ以テ今之カ發生地及成育地ノ區域ヲ査定セントスルニ方リテモ不確實ノ採收業者ノ所説ヲ參考スルノ外何等據ルベキノ資料無キヲ以テ已チ得ズ全灣ニ就テ以下各項所掲

ノ方法ヲ施行シ茲ニ第一回ノ調査即チ稚貝發生ノ地盤區域ヲ定メ且其發生地ト他ノ不發生地トノ底質地盤高低水深鹹度水温潮流風向等ノ比較ヲ結了セリ

#### 一、發生地區域ノ測定

前掲ノ如ク發生地ノ區域ヲ劃定センカ爲先ヅ灣内實測圖ニ據リ豫メ測点ヲ定メ茲ニ一々番号ヲ記入セル標識杭ヲ建テ其部分ニ於テ二尺立方積ノ底土ヲ掘取リ之ヲ篩撰シテ其一定面積内ニ棲息セル稚貝ヲ採收シ之カ全個數及大小ノ両端ヨリ順次各十個ツ、ヲ檢定シテ大小平均長ヲ定メタリ但多數ノ内稱ニ混在スル懸隔アル大サノモノハ之ヲ除ク

#### 二、底質ノ測定

前項ト同時ニ之ヲ測定ス

#### 三、發生地盤ノ高低及水深ノ測定

前項方法ニ據テ零發生區域ヲ認定セシヲ以テ更ニ各灣地ノ一定地点ニ於テ明治四十一年五月一日其水深ヲ測定シ別ニ本場附近ニ於テ毎日一時毎ニ測量セル水量ヲ標準トシテ其干満ノ極時ニ於ル水深及干出時間ヲ推算セリ

#### 四、發生區域ノ鹹度及水温

#### 蠶調査



本項ハ妹尾潟南大潟八濱近海ノミケ所ニ於テ觀測人ヲ囑托常設シテ四十一年二月九日ヨリ以後毎日滿潮時一回之ヲ測定ス

五 潮流風向

本項ハ精確ノ觀測ヲ施スノ設備ヲ缺キシヲ以テ已ヲ得ズ灣内各方面ニ於テ多年漁業ニ從事セルモノニ就テ之ヲ質セシニ止レリ

六 餌料

本項ハ勿論稚貝ノ發生ニ關係ヲ有スベキモ前項ト同ク一定時ニ測定スルノ設備ヲ完フセズ單ニ數回數ケ所ノ採取ニ止レリ

發生地調査成績

前記ノ方法ニヨリ明治四十一年三月一日ヨリ五月十五日ニ至ルノ間本場ニ於テ施行セシ結果ヲ綜合シテ別圖ノ事實ヲ明ニセリ元來管テ探查ヲ經サル全灣ニ向テ短時日ノ調査尙ホ不完ノ点ヲ免レサルモ今回ノ調査ニテ得タル根柢ニ基キ自今數回ノ研究調査ヲ重ナルニ及バシ零正確ノ事實ヲ知ルハ蓋疑ハザル所トス

一 發生地區域

發生地ハ別圖ニ示ス如ク北方福田沖ヨリ南方郡沖ニ至リ海岸堤防ニ接スル潟地ニシテ沿岸線延長約六里ニ亘リ幅員狹キハ百間廣キハ五六百間ニ達ス大潟以東ハ灰貝及牡蠣養殖地タルカ爲ニ自然幅員ヲ縮小セリ而シテ最厚發生地ハ笹ヶ瀬川筋及彦崎川筋ニ接スル妹尾及大潟ノ二潟地ニシテ其他ハ比較的稀薄ナリ今回調査セル處ニヨレバ發生ノ最濃厚ナルハ二尺立方積ニ對シ大潟ノ五五四粒ヲ第一トシ次ハ妹尾潟ノ四四〇乃至四二五粒トス其他ノ潟池ニアリテハ何レモ三百粒以下ニ止レリ今本調査ノ成績ニ基キ發生地ヲ其厚薄ニヨリ三段ニ分チ其面積ヲ計算スルニ大約次ノ如シ

發生地總面積

六八四九三五八<sup>坪</sup>

内

參百粒以上(二尺立方積ニ付キ)

四一〇五六〇<sup>坪</sup>

參百粒以上(全上)

一六四八九六八<sup>坪</sup>

百粒以内(全上)

四七八九八三〇<sup>坪</sup>

二 發生地ト不發生地トノ比較

發 生 地

地

不

發

生

地

(底質)

鹽 調査

(底質)

四十五



全体軟泥質ニシテ表面ニ浮泥二三寸ヲ被  
ノ所アリ妹尾灣以東漸次砂土ヲ混スルモ  
約三分ヲ超ヘズ

(地盤高低水深干出時間)

各灣地々盤ハ概シテ大灣最高ク北大灣ヨ  
リ妹尾青江ニ亘リ漸次低下ス又地灣ハ稍  
高ク北大灣ト等シ

水深ハ平潮時ニ於テ約五尺小潮時ニ於テ  
地底ヲ露出ス干出時間ハ大灣標識点ニ於  
テ大潮時四時間北大灣標識点ニ於テ三時  
間トス

(潮流風向)

本灣大体ノ潮流ハ滿潮ニ於テ東方ヨリ西  
向シ干潮ノ之ニ反スルハ當然ナルモ其間  
地盤ノ傾斜及滲筋ノ方向ニ依リ各所方向

多クハ砂泥質ニシテ硬ク大灣ノ中央部及  
地灣ノ不發生地ハ牡蠣養殖地トシテ介殼  
ヲ交ヘ地盤ノ硬化セシ部分ニ屬セリ

(地盤高低水深干出時間)

高低ノ大勢ハ發生地ニ準ス水深ハ平潮時  
ニ於テ約六尺發生地ニ全ク小潮時地底  
ヲ露出ス

干出時間ハ大灣標識点ニ於テ三時間北大  
灣標識点ニ於テ二時間トス

(潮流風向)

概シテ各灣地ノ低下部ニ屬シ從テ潮勢漸  
ク急ニ其滲筋ノ如キハ特ニ速力ヲ加フ大  
灣ノ南半部ノ如キハ地盤ノ關係モ少ナカ

及緩急區々ヲ免レズ然シテ發生地ハ概チ  
沿岸若クハ滲筋ニ沿フモ潮勢遲緩迂回セ  
ル部分ニ屬セリ又同一灣内ニモ幾條ノ凹  
凸線並行シ其凹條ニ發生ノ如キハ蓋退潮  
ニ伴ヒ胚子ノ此溝中ニ集團滯著スルモノ  
ハ如シ

風向モ亦潮勢ニ多少ノ關係ヲ有スルヲ以  
テ間接ニ蠶胚子ノ分布ニ影響スベキカ如  
キモ特ニ發生地不發生地トニ於ケル正確  
ノ比較ヲ得ス

鹹度水温

本項ハ妹尾灣大灣八濱ノ三所近岸即チ發  
生地ニ屬スル區域ニ於テ測定セシモノニ  
係リ其不發生地區域ニ於テハ之ヲ施行セ  
ザリシト雖モ滿潮時ニ於テセシ處ナルヲ

ラサルベキモ全体此灣ノ地盤東南ニ向テ  
傾斜シ退潮一灣東南ニ急流スルカ爲ニ此  
部分ニ着生稀少ナルモノナラン

(鹹度水温)



以テ恐ラクハ兩所共大差ナカルベシ(別表添付)

括要

發生地ハ底質泥土ニシテ軟柔ナルト地盤高ク潮流ノ遲緩コレテ胚子ノ着生ニ便ナルトハ其重要條件ナルベシ其他干出ノ長短風向鹹度餌料ノ多少等相關聯シテ其適否ヲ生スベキハ勿論ナルモ尙ホ次回ノ調査ヲ待タザレハ容易ニ斷シ難シトス又大瀉ノ一部分及妹尾瀉ノ一部ニ於テ特ニ多生地ヲ見ルハ其原由明カナラザルモ兩所共ニ從來本場ニ於テ養殖試驗場ヲ設置シ成員ノ採捕ヲ禁スルヲ以テ其附近發生ノ胚子多致ナリシハ零推測ニ難カラザルモ潮流ニ乗シテ浮動シ若クハ自動的ニ移轉スル事實ヲ反考スル時ハ必シモ之ヲ以テ唯一ノ原因トハ認メ難シ暫ク記シテ疑ヲ存ス

鉛直分布測定表

調査月日	位 置	表面以下	二寸五分以下	五寸以下	五寸以下
三月十七日	妹尾瀉	二三	二三	ナシ	ナシ
三月十八日	地 瀉	二三	二三	ナシ	ナシ
三月二十日	全 上	七三	七三	ナシ	ナシ

般長大小大差ナシ  
以下同

体長測定表

調査月日	位 置	一八〇	二〇〇	二二〇	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
四月二十五日	青江瀉	一八〇	二〇〇	二二〇	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
四月十三日	北 瀉	二〇〇	二二〇	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
四月十七日	全 上	九〇	二〇〇	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ

蛭 調 査

測定月日	位 置	採取個數	測定個數	平均	最長	最大	最小
三月十七日	青江瀉	二二	一〇	二・二	一・四〇	一・四〇	一・〇〇
三月十八日	地 瀉	二二	一〇	二・二	一・一〇	一・一〇	〇・三〇
三月二十日	全 上	七三	一〇	二・七	一・四〇	一・四〇	〇・二〇
三月二十二日	全 上	七三	一〇	二・七	一・四〇	一・四〇	〇・二〇
三月二十三日	妹尾瀉	二二	一〇	二・二	一・一〇	一・一〇	〇・二〇
三月二十四日	全 上	九三	一〇	二・三	一・一〇	一・一〇	〇・二〇
三月二十五日	青江瀉	二二	一〇	二・二	一・一〇	一・一〇	〇・二〇
三月二十六日	地 瀉	二二	一〇	二・二	一・一〇	一・一〇	〇・二〇
三月三十一日	全 上	九三	一〇	二・三	一・一〇	一・一〇	〇・二〇
四月一日	全 上	九三	一〇	二・三	一・一〇	一・一〇	〇・二〇







月別	天候	風向	風力	氣	温	水	温	比	重	摘	要
學一年四月	晴	北東	無		一五・八	一五・八		100%			
五月	晴	東	全		一九・四	一九・八		100%			
六月	全	東	和		二五・一	二二・八		101%			
七月	全	全	全		二二・一	二二・八		101%			
八月	全	全	無		二八・三	二二・二		101%			
九月	全	全	全		二二・九	二二・七		101%			
十月	全	北西	全		一八・一	一八・五		100%			
十一月	全	北西	全		一一・〇	一一・五		101%			
十二月	全	北西	全		七・八	八・四		101%			
學一年一月	全	東	全		五・八	六・三		101%			
二月	全	西	全		五・六	六・一		101%			
三月	全	北東	全		七・三	八・四		101%			

白魚調査

白魚ハ縣下兒島灣及之ニ注入スル各川其他高梁川流域ニ産シ其額敢テ輕視スベカラサルアリ從テ從來之カ漁業ノ制限ヲ設ケテ其濫獲ヲ防止セシ結果近年漸ク其生産ヲ増加セシ傾向アルモ之カ基礎タル其卵期其他食餌習性等ニ就テハ的確ノ調査ヲ缺クテ以テ

往々當業者間ニ制限時季ノ適否ヲ疑フモノアルヲ免レズ茲ヲ以テ如上ノ事實ヲ精査シ其結果ニ基キ蕃殖保護ノ方法ヲ確立シ現在ノ方法以上更ニ有効ノ保護ヲ加フルノ目的ヲ以テ前年度ニ繼續シ兒島灣及之ニ潮流スル吉井旭、笹瀬ノ三川ニ就キ一月ヨリ四月ノ間隨時之カ調査ニ從事シ略各項ノ大体ヲ明コセシモ由來此ノ種ノ調査其精確ヲ極ムルハ頗ル難事ニ屬シ甲ノ事實ヲ知ル爲メニ先ツ乙丙ノ事實ヲ究ムルノ要アリテ到底漁期間數回ノ調査ノ能クスベキニアテサルヲ以テ詳細ニ就テハ調査ノ完結ヲ待テ報告スベキモ本年度ニ於テ得タル調査ノ概要ヲ茲ニ記述スベシ

(分布)ハ之カ生育場ニ依リ二派ニ分ツコトヲ得一ハ兒島灣及之ニ注入スル各川ニ産スルモノト他ハ東西両高梁川及之カ流末ノ及ア淺口郡連島村ヨリ以西玉島町近海ニ亘リ産スルモノニシテ二者個体ニ大小ノ差アルノミナラズ連島村ヨリ兒島灣口ニ至ル僅々八九里ノ間嘗テ之カ生産ヲ認メス故ニ此二者ハ至ク別派ニ屬スルモノノ如シ

体形學名 *Salanx niwodon* Bleek. ト稱スル種類ニシテ体ハ細長ニシテ鱗ナク頭部ハ小ニシテ尖リ扁平ナリ体色ハ背腹共ニ白色ニシテ下腹側ニ黒点ヲ有ス成長セル雌雄ハ体ノ構造ヲ異ニシ雄ハ体大ニシテ鱗モ亦著シク大ニシテ扇狀ヲナシ其基部ニ三個ノ鱗ヲ有ス雌ハ体細ク稍九ツシテ鱗小ナリ一尾ノ大ヤ兒島灣産コアリテハ生長セルモノ平均長サ二寸五

白魚調査



分重サ二瓦内外高梁川産ハ長サ三寸重サ二瓦半強ニ達ス

五十四

(漁季)ハ例年之カ初漁ヲ見ルハ一月十日前後ニシテ邑久郡朝日村字久々井沿海ヨリ灣ノ附近ニ於テ初メ漸次灣内ニ進ミ一月下旬ヨリ二月上旬ニハ旭川内三崎港附近ニ於テ最盛ナリ二月中旬ヨリ下旬ニ於テ兒島郡甲浦村近海ヨリ全郡八濱町附近ニ及ビ其ヨリ漸次河口ニ近キ三月中旬ヨリ下旬ニ於テ笹ヶ瀬川尻ニ於テ盛ナリ

産卵期ハ二月ヨリ四月迄ノ間ニシテ最盛期ハ三月中旬ヨリ下旬ノ間ニアリ一月ニ於テハ概シテ生殖素ノ發育十分ナラズ卵粒小ナルカ一月三十日採取ノ標本ニ放産後ト認めラル、雌魚一尾ヲ得タリ四月ニ至リテハ多クハ一回放産後ニシテ四月下旬ニハ放産ナ了シ体疲瘦シ活力消滅セルモノ多シ白魚ハ少クモ二回産卵スルモノ、如ク三月中旬捕獲ノモノハ卵粒一千粒内外ヲ包有セルモノ三月下旬ニハ四百粒内外ヲ有スルモノ多シ爾シテ体ノ大サモ左表ノ如ク一月ヨリ漸次増大シ三月中旬ヲ極度トシ再ビ漸減ス

月別	体長	体重	体長	体重	体長	体重
一月下旬	11.5	1.0	11.5	1.1	11.5	1.1
二月上旬	11.5	1.1	11.5	1.0	11.5	1.1
二月中旬	11.5	1.1	11.5	1.0	11.5	1.1

二月下旬	11.5	1.1	11.5	1.1	11.5	1.1
三月上旬	11.5	1.1	11.5	1.0	11.5	1.1
三月中旬	11.5	1.1	11.5	1.0	11.5	1.1
三月下旬	11.5	1.1	11.5	1.0	11.5	1.1
四月上旬	11.5	1.1	11.5	1.0	11.5	1.1
四月中旬	11.5	1.1	11.5	1.0	11.5	1.1
四月下旬	11.5	1.1	11.5	1.0	11.5	1.1

(生長)周年兒島灣内ニ於テ行ハル、各種漁具ニ依リ白魚ノ捕獲ヲ見ルハ八月ヨリ十一月頃迄ノ二期間ニシテ其他ノ期間ニ於テハ殆シト隻影ヲ認めズ体ノ發育モ左表ニ示ス如ク十一月ヨリ翌年一月ニ至ルニケ月間ニ於テ著シク増大セシヲ見ル思フニ白魚ハ孵化後六七月頃迄ハ河川又ハ灣内ニ潜匿シ体ノ發育スルニ從ヒ灣内ヲ游行シ十一月頃ニ至レハ海ニ下リ此ニ於テ十分榮養ヲ攝取シ生殖素ノ發育ヲ遂グルモノノ如シ故ニ漁獲ハ灣口附近ヨリ漸次奥ニ進ムニヨリ之ヲ証スルヲ得次ニ生長表ヲ示ス

体長	九月	十一月	一月	二月	三月
11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5

白魚調査

五十五



(食餌)ハ主トシテ甲殻類中糠脚類ニ屬スルしくろつぷす類ヲ食シ四月十五日採捕ノモノハのみヲ食セルモノヲ見タリ然レドモ食餌ノ種類ニ至リテハ其數頗ル多ク各時季ニヨリ異同アルベキヲ認ム

(習性)ノ研究ハ頗ル至難ノ業ニシテ水産生物ニ於テ殊ニ然リ而シテ本場之カ研究ノ設備ニ乏シク漁業漁業者ノ經驗ト漁業ノ結果ニヨリ之ヲ推定スルニ過キサルヲ以テ到底漁季間ノ研究ヲ以テ満足スベキニアラズ猶次年ニ繼續シ調査研究ヲ盡シ之カ完結ヲ待チ報告セシコトヲ期ス

(産卵場)ニ就テハ是カ調査ニ資スベキ事實ニ乏シク漫然廣潤ナル水面ヲ探査スルハ勞多クシテ効ナキヲ慮リ先ツ漁獲最モ多大ナル笹ヶ瀬川ニ就テ次ノ三方面ヨリ著手セリ

一 河川内魚群集合場ノ探査

二 蘆荻水草ニ産附ノ有無

三 孵化兒ノ潜匿場ノ探査

産卵場ハ河川内ニアリテ産卵場及其附近ニハ必ス魚群ノ集合スルアルハ湖河魚類ノ常性ニ依リ推定シ得ラル、ナ以テ先笹ヶ瀬河口ヨリ上流潮水ノ達セザル白石足守兩川約

一里半ノ流域ヲ四月中上中下ノ三旬ニ亘リ各數日間四ツ手網ヲ以テ之カ捕採ヲ試ミシカ河口ヲ距ル約十町内外ノ相生橋附近ヨリ上流白石足守兩川ノ交叉点タル今保附近ノ間ニ於テ毎回二時間内外ノ投網ニ於テ体疲瘦セル産後ノモノ數尾ヲ得ルニ過ギサルモ相生橋ヨリ下流ニ於テハ卵粒ヲ包有スルモノ數十尾ヲ獲タリ然レバ産卵ハ河川内ニ於テ行フモノナルハ推定ノ誤ナキヲ知ルモ其集合ノ場所ニ就テハ何等得ル處ナカリシハ遺憾トスル處ナリ第二項ニ就テハ全ク四月中全一區域ヲ探査セシカ水草ハ之カ發生地ヲ見出サズ從テ上流潮水達セザル延友附近ニ於テ三角間ノ發生スルアリシモ此附近白魚ノ隻影ヲ認メズ又笹ヶ瀬上セシテ聞カサル處ナリ蘆荻ハ河岸干満ノアル處一面叢生シ當時刈除後ニアリテ新芽ノ萌出季ニアリシヲ以テ先ツ水流ニ接スル部ニ就キ調査ヲ遂ゲシモ遂ニ産附セル卵粒ヲ發見スルニ至ラス第三項ニ就テハ表面採取網ヲ以テ縱横ニ之ヲ曳廻シ四月十五日河口附近ニ於テ体長四分ノ稚魚一尾ヲ得タル外何等得ル所無シ

上記ノ如ク産卵場其他二三項ニ就テハ調査未完ニ屬スト雖モ其産卵期ニ就テハ氣候ノ寒暖ニヨリ年々多少ノ遲速ハ免レドモハ已テ得ザルモ調査ノ事實ニ就テハ大差ナキハ確信スル處ナリ而シテ之カ時季ノ現在保護期日タル四月四日ヨリ十二月二十五日ニ至ル禁漁時



期トテ對照スルニ該期間ハ恰モ産卵ノ終季ヨリ孵化後、稚兒時代ニ亘リ蕃殖ノ保護ト  
 價値少ナキ稚魚ノ捕獲ヲ禁ズル目的ニシテ制限ノ當ヲ得タルハ疑ヲ容ルベキ余地ナキ  
 ナ雅メ得タリ當業者間往々産卵期ノ如何ヲ辨ゼズシテ徒ニ雌魚回游ノ遲速多寡ニヨリ  
 制限時期ノ當否ヲ云々スルモノアルモ生殖ハ雌雄両性ノ交會ニ依リ行ハル、モノナル  
 以上何等根據ナキ説タルハ明ナリ要スルニ本調査ニ於テ漁業季節ニ對スル制限ノ適否  
 ナ斷ズルノ資材ハ之ヲ得タルモ更ニ進メテ産卵場ニ對スル保護法ヲ設クルノ適否及區  
 域ニ就テハ尙ホ研究ノ餘地アルヲ免レズ即チ次年ニ繼續シテ之ヲ施行セントスル所以  
 ナリ

### 重要水産生物漁業調査

本調査ハ農商務省水産局並ニ各關係水産試驗場トノ聯絡セル前年來ノ繼續事業ニシテ  
 縣下樞要ノ地區七ヶ所ニ報告員ヲ置キ本縣主要ノ魚屬ナルたひ、さわら、いわし、はも、あ  
 なご、たこ、いか、ばら、いなご、つばニ就テ漁獲ノ豐凶去來游泳ノ狀態等ニ關スル毎月巨細ノ  
 報告ヲ徴シツ、アルモノヲ一括シテ縣下ニ於ケル漁況大勢ヲ左記スルモノトス  
 たひ

本縣西部沿岸ニ於テハ鯛船曳葛網ハ四月十一二日ニ鯛流網ハ全二十三日ヨリ二十七日  
 迄網御ロシチナシタルモ永ク東風連吹シ氣候寒冷ナリシヲ以テ魚ノ入込ヲ阻礙シタル  
 ベク漁獲僅々數尾ニ過キズ五智網ハ五月十六日ヨリ二十日ニ亘リテ網御シチナセルニ  
 此時ハ漁況一般ニ良好ニ向ヒ葛網ハ一日少キモ二三十尾多キハ二百二十尾ヲ獲ルニ至  
 リシガ流網ハ依然薄漁ナリキ六月ハ既ニ終漁期ナルモ遂ニ好漁ト稱スベキモノナクシ  
 テ流網ハ七日ヨリ十日ニ亘リテ網揚チ了シ葛網ハ十日ヨリ十二日ノ間ニ悉皆網揚チナ  
 シタリ然ルニ五智網ハ香川縣高見島近海好漁ナルヲ聞キ全部彼地ニ出漁セリ其後備中  
 海面ニ出漁ヲ試ミシモノアルモ尙ホ高見島近海ノ漁獲ニ及ハサリシ延繩ハ白石島附近  
 ニ於テ相當ノ漁獲アリシガ如キモ葛網流網ハ近年稀ナル凶漁ナリシ今其本期三ヶ月間  
 ニ於ケル總漁獲高ヲ見ルニ平均約葛網一統一日一千二百尾流網全上四十尾五智網全上  
 二百餘尾ニシテ魚ノ体長ハ七寸此重量百五十匁ヨリ大ハ二尺五寸此重量一貫二百匁ト  
 シ價格ハ初期即チ四月中旬ハ一貫匁ニ付參圓位ナリシモ下落シテ五月上旬ハ貳圓貳拾  
 錢トナリ爾後騰貴ノ傾向アリシモ直チニ壹圓五拾錢ニ暴落シ遂ニ上騰スルコトナクシ  
 テ終リヌ

つわら

### 重要水産生物漁況調査







ニシテ例年ノ本期ニ比スレハ薄漁ニ屬ス右くるばかまゑるびハ体長一寸三分以上三寸四分ニシテ價格一尾五厘以上八厘其他ハ平均一貫匁十七錢位ナリシテ十月ニ至リあさむらゑるびノ漁獲多カリシ是ヲ例年ニ比スルニ漁期遅キノ感アリ其漁獲一日八貫匁ヨリ十五貫匁ニシテ平年以上ノ漁獲トス

るびノ体長ハ一寸以上一寸八分ニシテ一貫匁ニ付九錢以上拾八錢平均約拾四錢ヲ值セリ車るびハ初期以來順次漁獲ヲ増加シ十月ハ一日六七十尾ノ外各種合シテ二貫乃至十貫匁ノ漁獲ニ過キズ元來本漁業ノ豊凶ハ漁船運用ノ便否如何ニモルコト大ナルモノニシテ一般東風ヲ貴フモノナルモッハ却テ少ナク出漁日數乏シク加之寒氣酷烈ニシテるびハ多ク退散セシヲ以テ遂ニ豊漁ノ望ナク西部ニ於テハ十月下旬全部網揚ヲナシタリ其後東部ニ於テハ一日ニあさむらゑるび八升乃至三斗ノ漁獲アリテ價格ハ一升平均拾錢ナリシモ二月ニ入リテハ一日八貫乃至十二貫ノ漁獲アリ價格ハ一貫九錢位ナリシ

いなしハ専ラ備中沖諸島間ニ於テ漁獲スルモノニシテ例年六月中旬網卸シテナムモノナルモ本年ハ時期ノ遅レタルヲメ七月四五日ニ至リ初メテ出漁スルニ至レリ初期ハ漁獲乏シカリシモ中旬ニ移リテ群來シ一日平均四五樽ノ漁獲ニシテ多キハ二十五樽ニ達

スルノ狀況ナリシモ七月十日頃ニ至リ薄漁ニ移リタルヲ以テ殆ンド即時網揚ヲナシタリ本期僅々二ヶ月間ニ於ケル漁獲總高ハ網一帖ニ付百樽ヨリ多キハ二百七十樽ニシテ魚ノ体長一寸二分ヨリ大ハ三寸ニ達ス漁獲物ハ全部煮干品トシ價格六升入一俵ニ付小形上等品七八拾錢ヨリ九拾錢大形品ハ五六拾錢ヲ以テ販賣セリ以上ハ夏漁期ト稱ズルモノノ漁況ニシテ秋漁期ハ九月ヨリ初メシモ漁獲至テ乏シク例年ノ終漁期ナル十二月ニ至リ初メテ大群ノ來游アリシモ漁獲スルニ至ラズ本期數ヶ月ヲ通シテ多キモ漁獲三十樽少ナキハ九樽ニ過ギズシテ十五日頃悉ク網揚ヲナシタリ魚ハ体長一寸四五分價格ハ煎干品六升入一俵壹圓七拾五錢鮮魚ハ一樽貳圓ヨリ參圓貳拾錢ノ間ニ於テ販賣ヲ了セリ

縣下西部ニ於テハ六月十五日頃網卸シテナスヲ例トセルモ本年ハ期節ノ遅レタルヲ以テ延繩漁者ハ出漁ヲ躊躇シ居タルニ打瀬網ニテハ二尾乃至七尾ノ混漁アリシヲ以テ漸ク七月上旬ヨリ出漁ヲ初メ小田郡諸島近海ニ於テハ中旬ニ至リ餌料乏シク就業意ノ如クナラサルモ延繩ハ八尾乃至二十尾ノ漁獲アルニ至リ打瀬網ハ初期以來大差ナカリシ東部ニ於テハ八月中旬ヨリ出漁シ附近沿海並ニ家島鶴島大多府島小豆島近海ニ於テ

重要水産生物漁況調査



一日平均五貫匁ノ漁獲アリシモ九月ニ移リテハ延縄一艘ニ付七十余尾ヲ漁スルニ至リ  
 稍盛況ナリシガ右ハ十數日間ニシテ再ビ薄漁ニ陥リ多キモ二十尾少キハ三四尾ヲ獲ル  
 ニ過キズ打瀬網ハ漁獲皆無ノ姿トナレリ延テ十一月ニ移リ漁況遂ニ恢復スルニ至ラズ  
 シテ延縄ハ十四日ヨリ二十日ニ亘リテ終業セリ打瀬網モ下旬悉ク網場ヲナセリ魚ノ体  
 長ハ一尺此重量三十匁ヨリ三尺此重量六百匁ニシテ價格ハ一貫匁ニ付初期約壹圓ナリ  
 シモ其後壹圓貳參拾錢トナリ下テ九月頃ヨリハ魚モ一般大形トナリ價格モ壹圓四五拾  
 錢ニ騰貴シ終漁期ニ於テハ亦壹圓内外ニ下落セリ  
 わなご

本漁ハ東部山明灣内ニ於テハ手繰網ニヨリ終年多少ノ漁獲アルモ本年中ハ氣候不順ノ  
 爲メ發生不良ナリシガ一般寡漁ニシテ多キモ一日四十尾ニ過キス皆無ノモノ多シ東部  
 ト唯モ其他ハ七月中旬ニ於テ沿海ヨリ沖合ニ涉リテ籠繩ハ一日平均二貫匁ノ漁獲アリ  
 テ漸次豐漁ニ向ヒ九月中ハ好漁ト稱スベク平均六七貫ノ漁獲アリシガ十一月中旬以降  
 頓ニ漁獲ヲ減セリ然ルニ西部地方ニ於テハ十一月上旬延縄漁者出漁セシニ多少ノ漁獲  
 アリテ今後ノ望ヲ囑セシカ十二月四五日ニ至リ凶漁ヲ以テ遂ニ終業ヲ告タリ然ルニ東  
 部ニ於テハ十二月中旬ニ至リ一般多漁ニシテ一日十貫匁以上多キハ二十貫匁ヲ漁獲シ

居タリシガ下旬ニ至リ再ビ減退セシテ以テ一月末全部終漁セリ漁獲物ハ小ハ四匁ヨリ  
 大ハ五十匁ニシテ價格ハ四五月頃ハ一貫匁ニ付壹圓五拾錢ナリシモ一時低落シテ壹圓  
 貳拾錢トナリ十一月ニ至リ再ビ壹圓五拾錢ニ昇リ以後昇降ナクシテ終リヌ  
 たご

たごハ西部ニ於テハ例年十二月チ初期トス四月ニ入りテハ降雨多カリシ爲ニヤ前月來  
 漸次漁獲ヲ減シタリト雖モ一日飯蛸ハ二三十疋手長蛸ハ二百疋許リノ漁獲アリシモ鯛  
 鮭ノ漁期ニ入りシテ以テ十五日ヨリ二十日ニ亘リテ終漁セリ本漁期間即チ客年十二月  
 以降當月ニ至ル水上総高ハ少ナキモノ四拾圓多キハ百五拾圓位ナリシ蛸ノ大サハ手長  
 ニ在リテハ百疋ニ付重量二貫八百匁以下一貫四百匁價格ハ大小通シテ百疋ニ付壹圓飯  
 蛸ハ百疋ニ付大ナルハ二貫匁小ナルハ八百匁位ニシテ價格ハ大小通シテ百疋ニ付參四  
 拾錢ナリシ下テ六月下旬ニ至リ大蛸壹繩ヲ以テ諸島附近ニ出漁セシモ生育時期ナルニ  
 月中ハ兎角天候不順ナリシテ以テ漁獲思ハシカラズ一日平均二貫匁ナリシモ爾後ノ臺  
 ナ囑セリ然ルニ遂ニ多漁ノ期ナク八月上旬ヨリ下旬ニ亘リテ終業シタリ漁獲物ノ体量  
 ハ一疋小ハ百五十匁大ハ六百匁ニシテ價格初期ハ一貫匁四拾五錢ナリシモ順次昇騰シ  
 六拾錢乃至九拾錢ヲ以テ取引ヲ了セリ亞テ十二月ニ至リ西部ニテハ手繰網たご釣たご

重要水産生物漁況調査



延網等ノ出漁アリシモ依然漁獲少ナク網ハ香川縣三豐郡沖合ニ釣ハ全縣粟島方面ニ出漁セルニ網一日ノ漁獲多キハ手長蛸百七十疋及飯蛸四十餘匹釣ハ平漁ト稱スベク多キハ飯蛸三百疋少キモ百疋位ニシテ延網ハ一回ニ飯蛸六十疋乃至七十疋ノ漁獲ナリシモ其後頓ニ減少セリ然レドモ未タ我海面ノ比ニアラズ二月ニ至リ天候不穩トナリ釣漁者ハ更ニ出漁ノ日ナクシテ遂ニ終業シ延網モ例年ヨリ稍早ク三月二十日頃ヲ以テ終レリ網ハ猶持續セルモ至テ薄漁ニシテ一日少キハ手長蛸五六疋飯蛸七八疋多キモ手長蛸百疋飯蛸百疋内外ニ過キスシテ四月ニ移レリ(本調査ハ會計年度ニヨルヲ以テ四月以降ヲ略スルモノナリ)漁獲物ハ体量手長蛸ハ初期大ナルハ百疋ニ付二貫五百匁小ナルハ一貫六百匁飯蛸ハ大ナルモノ一貫六百匁小ナルモノ八百匁位ニシテ價格ハ手長蛸百疋ニ付八拾錢乃至壹圓貳拾錢飯蛸ハ參拾錢以上八拾錢位ナリシモ後期ニ至リテハ手長蛸大ナルハ百疋ニ付三貫匁小ナルハ一貫九百匁ニシテ價格百疋ニ付壹圓拾錢乃至壹圓參拾錢飯蛸ハ大ナルモノ百疋ニ付二貫匁小ナルモノ一貫匁位ニシテ價格ハ百疋ニ付七拾錢乃至壹圓ノ値ナリシ

いか

西部各地ニ於テハいかノ入込アルヲ見テ四月二十四日巢ヲ海中ニ沈設シ翌二十五日ヨリ

漁獲ヲ開始シ東部ニ於テモ相前後マテ出漁セシモ其當時漁獲ナカリシモ漸次良好ニ趣キ翌五月下旬ニハ漁獲多ク少ハ二三十疋ナルモ多キモノニ至リテハ能ク六百疋ニ達セシニ均ハラズ西部諸島嶼附近ハ寡漁ナリシカ遂ニ延ヒテ各海面共俄ニ不漁ニ頻シ到底恢復ノ見込ナキヲ以テ六月十三日頃ヨリ下旬ニ亘リテ例年ト等シク終業ヲ告ケタリ本漁ハ西部諸島ニ於テハ凶漁ニ終リ壺網ノ如キ數疋ヲ獲タルニ過ギザリシト雖モ全般ニ涉リテハ漁獲半年以上ト云フヲ得ベシイカハ小ナルモノハ一疋三十匁ナルモ大ナルモノハ百匁許リニシテ一貫匁ノ價二十錢以上三十錢ニシテ平均二十五錢トス

ばら

縣下東部ニ於テハ壺網ヲ以テ四月ヨリ六月ノ間漁獲スルヲ例トセル所アルモ本年ハ期節遅レタル爲カ來游少ナク一日數尾ヲ漁スルニ過キス縮數網ハ四月上旬網卸シテナセラルニ是又漁獲例年ノ比ニ非ラザルモ元來規模大ナルモノナレバ猶三百尾以上八百尾ヲ漁スルコトアリ五月ニ移リテハ縮數網ハ一統ノ漁獲多キハ一日三千尾少ナキモ二百尾ヲ下ラズ壺網ハ十五尾ヨリ多キハ二百尾ノ豐漁アリシモ下旬終業スルニ至リ魚ノ体量ハ百三十匁以上二百五十匁ニシテ一尾四拾錢ヲ値セリ然レトモ漸次上騰ニ向ヒ五月上旬ハ七拾錢ニ達シタルモ直チニ下落シテ遂ニ貳拾錢ヲ以テ終レリ下テ十一月ニ至リ



各地方共鮪漁業ニ着手セシニ猶漁獲少ナク時日移リテ三月末ニ至ルモ備中海方面線網ヲ以テ僅カニ一日八九十尾ヲ獲東部ニ於テモ線網ニテ一日三百乃至五百尾ノ漁獲アルニ過ギズシテ凶漁モ亦々甚シク例年ニ比スベクモアラズ加之將來益不漁ノ徴アリシガ果セルカナ其後殆ント全ク漁獲ナク三月中ハ一回ニ數十尾ノ漁獲ヲナセシコトアリシモ徐々ニ業ヲ廢スルニ至レリ漁獲物ハ体長七寸乃至二尺ニシテ價格小ナルモノ拾錢大ナルモノ三拾錢ナリシガ漸次昇騰シ三月末ニ於テハ小拾四五錢ヨリ大ハ參拾五六錢ニ昇レリ

いな  
縣下東部ニ於テハ八月ヨリ漁獲ヲ開始スル所アリテ初期ト雖モ壺網ニ於テ二十尾ヨリ百尾ヲ獲大ニ望テ囑セシカ漸次増加シ來リ九月中ハ多キハ一日一統ニ付三百尾少ナキモ五十尾ノ漁獲アリシモ漸次寒冷ニ向ヒ頓ニ漁獲ヲ減セリ然レトモいな建網ニ於テハ一日三十尾以上百二十尾ノ漁獲アリテ依然漁業ヲ繼續セシニ十一月ニ至リ寄魚漁業ノ開始ト共ニ魚類ハ是ニ集リ漁獲皆無ノ姿トナリ除々ニ業ヲ中止スルニ至レリ然レトモ平漁以上ノ好果ヲ收メ得タリト云フ漁獲物ハ体量十五匁ヨリ三十三匁ニシテ價格ハ一尾八厘以上參錢ヲ示セリ又西部地方ニ於テハ九月上旬網卸シテナシ淺口郡地先以西備

後瀬津沖合ニ涉リ線網壺網投網等ヲ以テ出漁セシモノハ初期ニ於テ既ニ豐漁ニシテ線網一日能ク二三千尾ヲ漁シ少ナキモ四百五百尾ヲ漁シ壺網ハ一日平均五十尾多キハ二百尾投網ト雖モ一日平均三十尾ニシテ多キハ三百尾ヲ獲テ引續キ好漁ナリシガ十一月ニ移リ稍減少シ線網ハ一日七十尾乃至一千三百尾投網ハ平均二十尾ノ漁獲ニ過キスト雖モ概シテ魚ノ入込多キヲ以テ近年廢業セシ鶴繩網モ遂ニ一月二日頃ニ至リテ出漁シ一日平均三百尾多キハ八百尾ヲ獲ルニ至リテ隆盛ヲ極メタリシカ二月下旬ニ至リ寒威甚ダシク漁獲ヲ減セシヲ以テ三月二十五日迄ニ各網共終業ヲナシタリト雖モ當地方今期ハ殊ニ豐漁ナリシ然ルニ縣下各地共多クハ十一月下旬ヨリ漁業ヲ初メシニ近年稀ナル凶漁ニシテ漁獲乏シキニヨリ一日數回ノ就業ヲナシテ休止スルノ有様ナリ當漁期ノ漁獲物ハ初期ニ於テハ体長五六寸價格一尾貳錢五厘ヨリ參錢迄ナリシガ一月ニハ体長六七寸ノモノニシテ價格騰貴シ一尾六錢以上八錢ニ昇リ終期ニ於テハ稍低落シタルモ猶六七錢ヲ値セリ

さつば (方言ま、かり)

例年ニ比シ聊早ク七月下旬ヨリ出漁ヲ初メタリシガ流網一統ニテ一日ニ能ク二千尾ヲ獲タリ爾後益好況ニ向ヒ殊ニ家島小豆島鶴海頭島白石島等ノ附近ハ最モ多漁ニシテ毎



日一統ノ漁獲五六千尾壺網ハ四百尾ヨリ一千尾ノ漁獲ヲ以テ經績セシモ降テ十月ニ至  
リ聊減少シテ一日流網四千余尾壺網多キモ三百尾ヲ獲ルニ至レリ尤モ大多府島附近ハ  
依然漁獲ヲ減セサリシガ十一月下旬一股ニ漁獲減少シ西部ニ於テハ流網ハ修了ヲ告ケ  
タリシモ東部ニ於テハ繼續中ノ所再ビ好況ニ復シ時トシテ一統ニテ五萬余尾ヲ獲ル等  
ノコトアリシモ十二月下旬ニハ網揚ヲナセリ本年ハ魚ノ來游多カリシト体形ノ大ナリ  
シハ近年其例ナキ所ニシテ又例年以上ノ豐漁ナリシ漁獲物ハ体長初期ハ五寸以下二寸  
五分價格一尾七毛ヨリ高キモ貳厘ニ過ギサリシガ其後一層價格低落セシモ瞬時ニシテ  
漸次騰貴シ終期ニ及ンデハ魚ノ体長四寸以上六寸ニシテ平均五寸位價格ハ一尾平均約  
四厘ニシテ當時最低一厘五毛最高八厘ナリシ

七十

### 海洋觀測

本觀測ハ從來農商務省水產局並ニ關係各府縣水產試驗場トノ聯絡セル經績事業ニシテ  
縣下邑久郡牛窓沖海深十八尋及兒島郡下津井町大字大島沖海深二十八尋ノ二箇所ニ於  
テ毎月一十一二十一日ノ三回觀測ヲ施行シ各一定時ニ於テ天候風向風力氣溫海水溫比  
重潮流ノ干滿方向及速力水色濁濁並ニ海面ノ模様等ニ付キ詳細ナル報告ヲ徵セリ而シ

テ其目的トスル所ハ專ラ水形學上ノ研究ヲナシ海洋ト水族トノ關係ヲ察知スルノ材料  
ニ資スルモノニシテ本項ノ如キハ到底短日月ニ於テ直ニ其効果ヲ考查スルコト能ハス  
ト雖トモ之レヲ怠ルコトナクシバ生物調査ト相俟テ漁業界ニ貢獻スルモノアルヘシ  
今參考トシテ本年度中ニ於ケル該觀測表ヲ左記スルモノトス







観測月次	四十二年八月	四十二年九月
場所及水深	児島郡下津井町大字大島 廿八尋	沖島郡下津井町大字大島 廿八尋
項目	午後二時 廿一日 午後二時 廿一日 午後二時 廿一日	午後二時 廿一日 午後二時 廿一日 午後二時 廿一日
天候	晴 晴 晴	微雨 快雨曇 晴
風向風力	西南西ノ南々西ノ 西南西ノ南々西ノ 西南西ノ南々西ノ	東ノ東ノ東ノ 東ノ東ノ東ノ 東ノ東ノ東ノ
気温	20.5 20.0 20.0	20.5 20.0 20.0
海面温	25.5 25.0 25.0	25.5 25.0 25.0
海底温	20.0 20.0 20.0	20.0 20.0 20.0
比重	1.01 1.01 1.01	1.01 1.01 1.01
湖沙干満	干湖二合 干湖一合 干湖三合 干湖一合	干湖二合 干湖一合 干湖三合 干湖一合
湖向強弱	東ノ強 西ノ強 東ノ強 西ノ強	東ノ強 西ノ強 東ノ強 西ノ強
水色清濁	澄 澄 澄 澄	澄 澄 澄 澄
海面ノ模様	静 静 大波 中波	静 静 大波 中波
備考	曇 九時 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 雨 一雨 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 晴 五曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 五曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后	曇 九時 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 雨 一雨 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 晴 五曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 五曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后
備	上向よりぎ撒網ヲ始めはせ 上向ぎきみ釣終了 細漁ヲ了セリ中向ニ至リ ま、かり網ハ依然好漁ト云 ぬ釣ヲ始ム ナルモた釣ハ不漁 其他打瀬網ニち網籠籠ぎ み釣上りぎ撒網等ハ相曇漁 獲アリ	上向よりぎ撒網ヲ始めはせ 上向ぎきみ釣終了 細漁ヲ了セリ中向ニ至リ ま、かり網ハ依然好漁ト云 ぬ釣ヲ始ム ナルモた釣ハ不漁 其他打瀬網ニち網籠籠ぎ み釣上りぎ撒網等ハ相曇漁 獲アリ
漁		
况		

六十四

観測月次	四十一年十月	四十一年十一月
場所及水深	児島郡下津井町大字大島 廿八尋	児島郡下津井町大字大島 廿八尋
項目	午後二時 廿一日 午後二時 廿一日 午後二時 廿一日	午後二時 廿一日 午後二時 廿一日 午後二時 廿一日
天候	晴 曇 曇	晴 曇 曇
風向風力	西ノ三 北東ノ西ノ西ノ 北東ノ西ノ西ノ	西ノ三 北東ノ西ノ西ノ 北東ノ西ノ西ノ
気温	20.0 20.0 20.0	20.0 20.0 20.0
海面温	23.0 23.0 23.0	23.0 23.0 23.0
海底温	20.0 20.0 20.0	20.0 20.0 20.0
比重	1.01 1.01 1.01	1.01 1.01 1.01
湖沙干満	干湖一合 干湖一合 干湖九合	干湖一合 干湖一合 干湖九合
湖向強弱	東ノ強 西ノ強 東ノ強 西ノ強	東ノ強 西ノ強 東ノ強 西ノ強
水色清濁	澄 澄 澄	澄 澄 澄
海面ノ模様	中波 小波 小波 中波	中波 小波 小波 中波
備考	晴 五曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 曇 三雨 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 四曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 五曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 七曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 一曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 二曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 六曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后	晴 五曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 曇 三雨 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 四曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 五曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 七曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 一曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 二曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后 六曇 天候 前観測后前観測后前観測后前観測后
備	打瀬網ニち網ま、かり網 上向より四張網ヲ始ム ち網及ちぬ釣ハ中向終了 告ケタリ ま、かり網ハ好漁其他ハ平 漁	打瀬網ニち網ま、かり網 上向より四張網ヲ始ム ち網及ちぬ釣ハ中向終了 告ケタリ ま、かり網ハ好漁其他ハ平 漁
漁		
况		

六十五







観測月次	場所及水深	日時	天候	風向風力	気温	海面温	海底温	比重	潮沙干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	漁	況
四十一年四月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 拾八尋	午後一時廿一日	曇	西南二	14.7	14.5	14.0	1.025	干潮六合	東南ノ弱	緑色中々	海面ノ模様	曇雨	小いカノ漁期ニシテ平漁ナ リ其他特記事項ナシ	本月ハ例年ニナキニシテノ來 遊多シ元因ハ不詳
		午後二時	曇	西南二	14.7	14.5	14.0	1.025	干潮六合	東南ノ弱	緑色中々	海面ノ模様	曇雨		
四十一年五月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 拾八尋	午後一時廿一日	快晴	西南一	17.9	17.5	17.0	1.025	干潮七合	東南ノ弱	灰色大々	波中	晴	未ダ漁漁ナリ	たひさわらノ來遊チ見ルモ
		午後二時	快晴	西南一	17.9	17.5	17.0	1.025	干潮七合	東南ノ弱	灰色大々	波中	晴		
四十一年四月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 拾八尋	午後一時廿一日	曇	西南二	17.6	17.5	17.0	1.025	干潮七合	西南ノ弱	灰色大々	波中	曇雨	未ダ漁漁ナリ	たひさわらノ來遊チ見ルモ
		午後二時	曇	西南二	17.6	17.5	17.0	1.025	干潮七合	西南ノ弱	灰色大々	波中	曇雨		
四十一年五月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 拾八尋	午後一時廿一日	快晴	西南一	17.7	17.5	17.0	1.025	干潮七合	西南ノ弱	灰色大々	波中	晴	未ダ漁漁ナリ	たひさわらノ來遊チ見ルモ
		午後二時	快晴	西南一	17.7	17.5	17.0	1.025	干潮七合	西南ノ弱	灰色大々	波中	晴		
四十一年四月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 拾八尋	午後一時廿一日	曇	西南二	17.7	17.5	17.0	1.025	干潮七合	西南ノ弱	灰色大々	波中	曇雨	未ダ漁漁ナリ	たひさわらノ來遊チ見ルモ
		午後二時	曇	西南二	17.7	17.5	17.0	1.025	干潮七合	西南ノ弱	灰色大々	波中	曇雨		
四十一年五月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 拾八尋	午後一時廿一日	快晴	西南一	17.7	17.5	17.0	1.025	干潮七合	西南ノ弱	灰色大々	波中	晴	未ダ漁漁ナリ	たひさわらノ來遊チ見ルモ
		午後二時	快晴	西南一	17.7	17.5	17.0	1.025	干潮七合	西南ノ弱	灰色大々	波中	晴		

観測月次	場所及水深	日時	天候	風向風力	気温	海面温	海底温	比重	潮沙干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	漁	況
四十一年六月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 廿八尋	午後一時廿一日	曇	西南二	17.3	17.5	17.0	1.025	干潮五合	西南ノ弱	灰色大々	波小	曇雨	ま、かりハ好漁ナルモかに げたゑいハ好漁ニ属スルモ	さわらひらハ概シテ薄漁ナ りハ少ナシ
		午後二時	曇	西南二	17.3	17.5	17.0	1.025	干潮五合	西南ノ弱	灰色大々	波小	曇雨		
四十一年七月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 廿八尋	午後一時廿一日	曇	西南一	17.3	17.5	17.0	1.025	干潮五合	西南ノ弱	灰色大々	波小	曇雨	ま、かりハ好漁ナルモかに げたゑいハ好漁ニ属スルモ	さわらひらハ概シテ薄漁ナ りハ少ナシ
		午後二時	曇	西南一	17.3	17.5	17.0	1.025	干潮五合	西南ノ弱	灰色大々	波小	曇雨		
四十一年七月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 廿八尋	午後一時廿一日	曇	西南一	17.3	17.5	17.0	1.025	干潮五合	西南ノ弱	灰色大々	波小	曇雨	ま、かりハ好漁ナルモかに げたゑいハ好漁ニ属スルモ	さわらひらハ概シテ薄漁ナ りハ少ナシ
		午後二時	曇	西南一	17.3	17.5	17.0	1.025	干潮五合	西南ノ弱	灰色大々	波小	曇雨		
四十一年七月	邑久郡牛窓町沖黒島東方 廿八尋	午後一時廿一日	曇	西南一	17.3	17.5	17.0	1.025	干潮五合	西南ノ弱	灰色大々	波小	曇雨	ま、かりハ好漁ナルモかに げたゑいハ好漁ニ属スルモ	さわらひらハ概シテ薄漁ナ りハ少ナシ
		午後二時	曇	西南一	17.3	17.5	17.0	1.025	干潮五合	西南ノ弱	灰色大々	波小	曇雨		



觀測月次	場所及水深	項目	天気	風向	氣温	海表面温	海底温	比重	潮沙干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	備	況
四十一年八月	邑久郡生窓町沖黒島東方 拾八尋	午後一時	快	西南	六.5	二七.0	二四.0	一九.五	干潮五合	東南ノ強	綠色	小	晴	上旬大ニ雲繩出遊ヲ始メ シモ漁獲少ナシ	上旬大ニ雲繩出遊ヲ始メ シモ漁獲少ナシ
		午後二時	晴	東	六.四	二七.七	二五.0	一九.五	干潮三合	東南ノ強	灰色大濁	波小	曇	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
四十一年九月	邑久郡生窓町沖黒島東方 拾八尋	午後二時	晴	西南	六.三	二七.0	二四.0	一九.五	干潮三合	東南ノ強	綠色	波小	晴	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
		午後二時	晴	東	六.八	二七.五	二五.0	一九.五	干潮ノ初	東南ノ強	灰色大濁	波微	曇	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
四十一年八月	邑久郡生窓町沖黒島東方 拾八尋	午後二時	晴	西南	六.九	二七.九	二五.0	一九.五	干潮三合	東南ノ強	綠色	波微	晴	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
		午後二時	晴	東	六.九	二七.九	二五.0	一九.五	干潮三合	東南ノ強	灰色大濁	波微	曇	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
四十一年八月	邑久郡生窓町沖黒島東方 拾八尋	午後二時	晴	西南	六.八	二七.七	二五.0	一九.五	干潮三合	東南ノ強	綠色	波微	晴	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
		午後二時	晴	東	六.八	二七.七	二五.0	一九.五	干潮三合	東南ノ強	灰色大濁	波微	曇	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ

觀測月次	場所及水深	項目	天気	風向	氣温	海表面温	海底温	比重	潮沙干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	備	況
四十一年十月	邑久郡生窓町沖黒島東方 拾八尋	午後二時	曇	西南	二.三	三〇.0	二七.七	二〇.〇	干潮極	東南ノ強	灰色濁	波小	晴	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
		午後二時	曇	北	二.三	三〇.〇	二七.七	二〇.〇	干潮三合	東南ノ強	灰色濁	波中	曇	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
四十一年十一月	邑久郡生窓町沖黒島東方 拾八尋	午後二時	曇	西南	二.三	三〇.〇	二七.七	二〇.〇	干潮三合	東南ノ強	灰色濁	波小	晴	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ
		午後二時	曇	北	二.三	三〇.〇	二七.七	二〇.〇	干潮三合	東南ノ強	灰色濁	波中	曇	他ノ概シテ毒漁ニ頗セリ	下句ニ至リハモ繩漁ヲ開始 ス漁獲良好ナリ



觀測月次	場所及水深	項目	天候	風向風力	氣温	海面温	海底温	比電	湖沙干満	湖向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	漁	況
四十一年十二月	邑久郡牛窓町神島東方 拾八尋	日三 午後二時	晴	北二	一四	一三	一四	三〇	滿潮一合	西北一弱	綠色濁	小波平	曇晴 九 天候	せびの平漁ノ姿ニアリ 間出漁ヲせし四百五十尾ヲ ナド三百尾ラぬ二百尾ヲ獲 タリ	
四十二年一月	邑久郡牛窓町神島東方 拾八尋	日三 午後二時	曇	北二	一四	一三	一四	三〇	滿潮一合	西北一弱	綠色濁	小波平	曇晴 九 天候		
四十二年一月	邑久郡牛窓町神島東方 拾八尋	日三 午後二時	曇	北二	一四	一三	一四	三〇	滿潮一合	西北一弱	綠色濁	小波平	曇晴 九 天候		
四十二年一月	邑久郡牛窓町神島東方 拾八尋	日三 午後二時	曇	北二	一四	一三	一四	三〇	滿潮一合	西北一弱	綠色濁	小波平	曇晴 九 天候		
四十二年一月	邑久郡牛窓町神島東方 拾八尋	日三 午後二時	曇	北二	一四	一三	一四	三〇	滿潮一合	西北一弱	綠色濁	小波平	曇晴 九 天候		

七十一

觀測月次	場所及水深	項目	天候	風向風力	氣温	海面温	海底温	比重	湖沙干満	湖向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	漁	況
四十二年二月	邑久郡牛窓町神島東方 十八尋	日一 午後二時	曇	東二	七	八	一〇	三四	干満ノ桂滿潮三合	西北一強	灰色濁	小波微	曇雨 二 天候	寄魚漁業ハ一日出漁シテ僅 カニ二百五十尾ヲ獲 ひなげた平漁 カニをめぐりてハ海捕ナ シテ五日ニハ漁獲高約一万 尾又七日ニハ六千餘尾 九日ハ七百尾十一日ハ 二千尾十五日ハ三百三十尾 十八日ハ七千五百尾 十九日 ハ二千餘尾ヲ獲タリ	
四十二年二月	邑久郡牛窓町神島東方 十八尋	日一 午後二時	曇	東二	七	八	一〇	三四	干満ノ桂滿潮三合	西北一強	灰色濁	小波微	曇雨 二 天候		
四十二年二月	邑久郡牛窓町神島東方 十八尋	日一 午後二時	曇	東二	七	八	一〇	三四	干満ノ桂滿潮三合	西北一強	灰色濁	小波微	曇雨 二 天候		
四十二年二月	邑久郡牛窓町神島東方 十八尋	日一 午後二時	曇	東二	七	八	一〇	三四	干満ノ桂滿潮三合	西北一強	灰色濁	小波微	曇雨 二 天候		
四十二年二月	邑久郡牛窓町神島東方 十八尋	日一 午後二時	曇	東二	七	八	一〇	三四	干満ノ桂滿潮三合	西北一強	灰色濁	小波微	曇雨 二 天候		

七十三



### 實地傳習

#### 養鯉傳習

本事業ハ累年ノ繼續事業ニ屬シ淡水養魚獎勵ノ爲メ親鯉及鯉兒ノ配附ニ伴ヒ施行スハキ事業ニシテ四月二十日募集ヲ公示シ志望者七名中規程ニ副ハサルモノ及事故ニ依リ出頭セサルモノヲ除キ採用シタルモノノ上道郡二邑久郡一ノ三名ニシテ五月一日ヨリ六月廿五日マテノ間ニ於テ實地ト學理ノ二途ニヨリ鯉魚ノ採卵孵化養成其他淡水養魚ノ一班ヲ併セ修得セシメタリ其成績極メテ良好ニシテ歸省後ハ實地養魚ニ從事シ地方ノ模範タルハ勿論雅兒養成ニ稻田養鯉ニ其他新業ノ發展ヲ期スルニ至レリ

#### 講話及指導

講話及實地指導ハ本場ニ於テ其必要ヲ認メタル場合若シハ當業者ノ請求ニ應ジ場員ヲ派遣シテ之ニ從事セシメタリ

講話 水産業全体ニ關スルモノ二回 韓海山漁獎勵ニ關スルモノ五回

養殖業ニ關スルモノ三回

實地指導 養殖業ニ關スルモノ九回 漁業ニ關スルモノ五回

明治四十三年四月十二日印刷  
明治四十三年四月十五日發行

(非賣品)

### 岡山縣水産試驗場

岡山市大字船頭町三十七番地

印刷者 安井 宇吉

岡山市大字西中山下百五十四番地

印刷所 山陽活版所

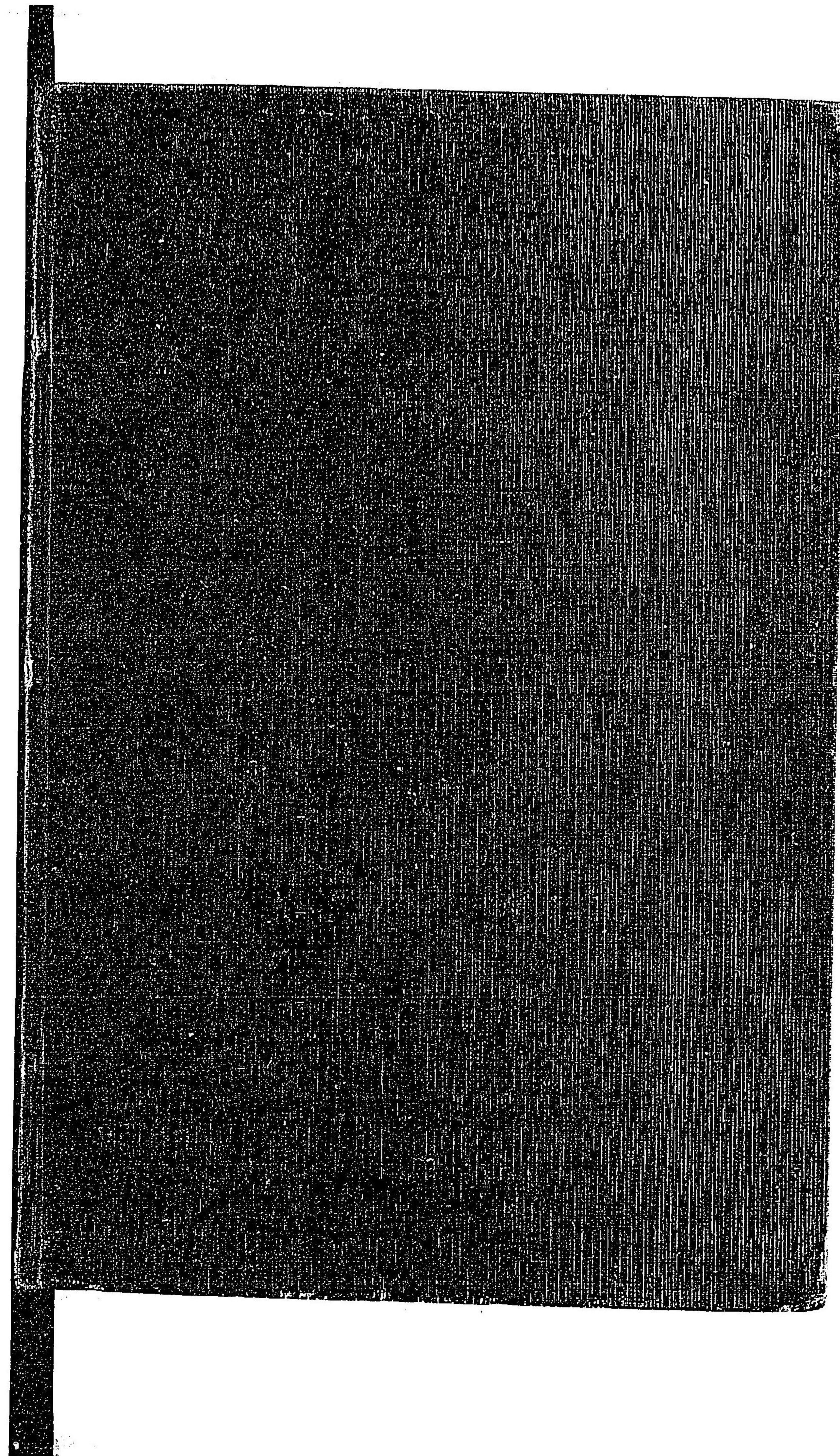
14.31  
104



142<sup>1</sup>

104

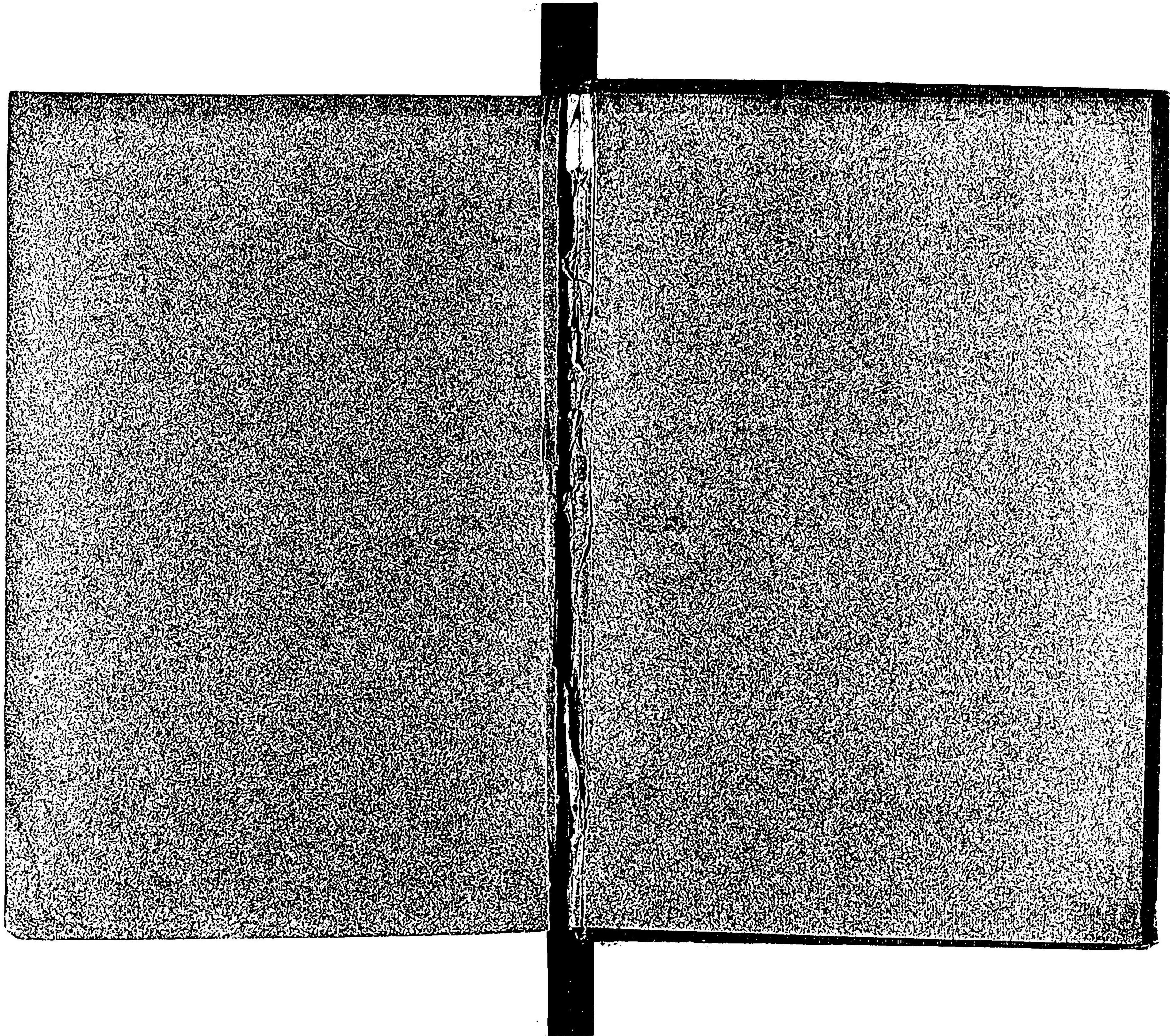






14.21  
104







ニ其技術ヲ練習セシメ其修得証ヲ授與セリ

八十二

### 講話及實地指導

講話及實地指導ハ縣下常業者ノ請求ニ應ジ若クハ本場ニ於テ特必要ヲ認メタル場合場員ヲ派シテ之ニ從事セシメタリ

講話 七回 但淡水養殖關係四回水産全般ニ係ルモノ三回  
實地指導 九回 但淡水養殖關係三回鹹水養殖關係四回漁業關係二回

明治四十二年四月十日印刷  
明治四十二年四月十五日發行

(非賣品)

## 岡山縣水産試驗場

岡山市大字船頭町三十七番地

印刷者 安井 宇吉

岡山市大字西中山下百五十四番地

印刷所 山陽活版所

14.3  
1066